

成功企業の秘訣を学ぶ

ACTIVE KUMIAI

都留機械金属工業協同組合



桜井甘精堂の視察研修

都留機械金属工業協同組合（木村勝幸理事長）は、平成25年2月17日、18日の両日、中央会の緊急課題対応集中指導事業の一環で視察研修事業を実施した。

当該組合を取り巻く環境は、日本経済の長引く不況、特に円高の影響による取引先企業の海外進出及び海外からの部品調達の影響を受け、年々売上高が減少している。また、中国国内における日本製品不買運動の影響を受け、ますます先行きが厳しくなっている。

このような中、一部の企業においては後継者も育っており、親世代の技術・手法と若手や女性の感性・IT技術との融合による活性化が今後の課題となっている。

今回の研修では、創業二百年を誇る老舗企業である「桜井甘精堂」が伝統に甘んじることなく時代の変化に対応し、常に新しい製品を考え、革新を続けている企業理念を学んだ。加えて、景気の影響を受けにくく、中小企業のメーカーが多い食品製造機器製造への参入の可能性を探った。

二日目の「エーワン精密」は、無借金経営で最強の20億円企業と呼ばれている。徹底した「コスト管理」「人事管理」「時間管理」を行っており、その手法について学んだ。

今後は、今回の研修を活かし、若手を中心にIT活用により、三つの管理を推進していく手法、また、プレゼンテーションにITを活用する手法についての研修を行っていく予定である。



エーワン精密の工場見学

TOPICS